

## 寺田縄界隈の野鳥 (その1)

寺田縄には、住宅街、畑、水田、川などの自然環境がバランスよく保たれ、数多くの小鳥たちが生活しています。辺りを注意して見ていると素敵な野鳥に出会えます。

寺田縄で見かける野鳥の一部を紹介いたします。



### カワセミ (翡翠)

漢字ではヒスイと書きます。名前のように、「小鳥の宝石」と云われる美しい羽根毛と姿をしています。

寺田縄を流れる「鈴川」では、時期を問わず、よく見かけます。

### メジロ (目白)

冬になると市街地にも姿を現し、庭先の餌台に置いた餌をついばみに飛んできます。目の周りの白が目立ちます。

同じつがいでしょうか、毎年、仲良くカップルで姿を見せます。



### ウグイス (鶯)

ホーホケキョの泣き声は、幼児でも真似できるなじみの深い小鳥です。でも、姿をとらえることは難しいですね。

幸いなことに、「ホーホケキョ♪ケキョ ケキョ ケキョキョ♪♪ホーホケキョ♪」と、電線でのラブコールをとらえました。





### カルガモ（軽鴨）

「かるがもの子」は夏の季語です。日本各地で営巣します。夏に子連れで可愛い一団を、「鈴川」や時には水田でみかけます。親子が揃い、水を切って泳いでいます。

黒色のくちばしと黄色い先端が特徴です。

### チョウゲンボウの仲間（長元坊）

全長 30 cm ぐらいのハヤブサ科のタカ、猛禽類です。鋭いかぎ状のくちばしと爪は主にネズミ類をとらえる時に使います。

電柱にとまった姿です。何かを見つめ、狙いを定めているのでしょうか“威風堂々”としています。



### タゲリ（田鳧・田計里）

頭部にある飾り羽が長く、後上方に反り返っています。体に太陽が当たると、グリーンを基調にしたメタリックな輝きが、とてもきれいです。ユーラシア大陸北部で繁殖し、冬になると日本に渡ってきます。

寺田縄の田畠には、撮影のための望遠カメラが並びます。

名前の由来は、田を足でけり食用の虫を捕食することにあります。